

第53回
下水道の日
作品コンクール

入賞作品集



埼 玉 県
埼 玉 県 下 水 道 協 会
公 益 財 団 法 人 埼 玉 県 下 水 道 公 社

このたび、第53回「下水道の日」の記念事業として、標語・ポスター・書道・新聞及び作文の作品募集を行ったところ、多くの皆様から数々の優れた作品の応募をいただき、厚く御礼申し上げます。

9月10日は下水道の日

「下水道の日」は、1961年（昭和36年）に下水道の普及およびアピールを図るために「全国下水道促進デー」として定められたものが始まりです。

当時は下水道の普及が著しく遅れており、また経済が高度成長した反面、生活環境や公共用水域の悪化が著しくなっており、下水道の整備・促進に対する要望が高まっていました。

それから約40年が経過し、2001年（平成13年）が21世紀のスタートの年でもあることなどから、より親しみのある「下水道の日」に名称が変更されました。

9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである二百十日を過ぎた220日（立春から数えて）が適当であるとされたためです。

毎年、9月10日を中心とした前後1週間に、下水道に対する理解や関心を深めていただくため、下水道事業者である地方公共団体などが様々な催しを全国で開催しています。

埼玉県においては、埼玉県・埼玉県下水道協会及び公益財団法人埼玉県下水道公社の三者が共催し、「下水道の日」の記念事業として、「作品コンクール」や水循環センターを見学する「下水道の日の集い」を実施しております。

第53回「下水道の日」
作品コンクール

入賞作品集

標語部門

…… 2 ページ

ポスター部門

小学校低学年の部	3 ページ
小学校高学年の部	4 ページ
中学生の部	5 ページ

書道部門

小学校低学年の部	6 ページ
小学校高学年の部	7 ページ
中学生の部	8 ページ

新聞部門

小学校高学年の部	9 ページ
中学生の部	12 ページ

作文部門

小学校高学年の部	13 ページ
中学生の部	17 ページ



埼玉県知事賞

下水道 水の惑星 守る道

北本市立南小学校 四年 松下 涼乃



埼玉県下水道協会会長賞

下水道 君からとどく 明日の水

秩父市立高篠小学校 五年 松崎 由芽



入選

透き通る きれいな水を この先も

狭山市立狭山台中学校 三年 永木 康平



入選

私の町 地下に広がる 明るい未来

秩父市立西小学校 四年 菊池 紗葵



入選

今と未来 水の掛け橋 下水道

戸田市立戸田第一小学校 六年 櫻井 雪乃



埼玉県下水道協会長賞



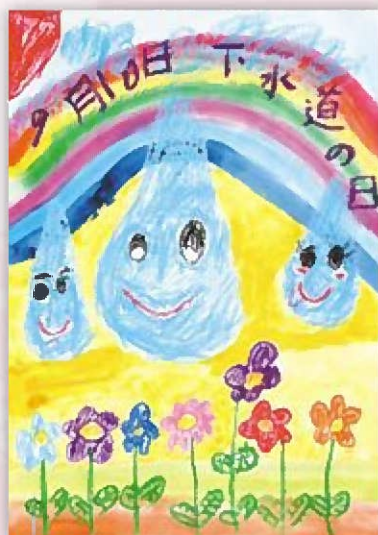
草加市立新里小学校 1年
高橋 真寛



埼玉県知事賞



行田市立南小学校 3年
井手 愛結



入選

ふじみ野市立福岡小学校 1年
落合 美結



入選



入選

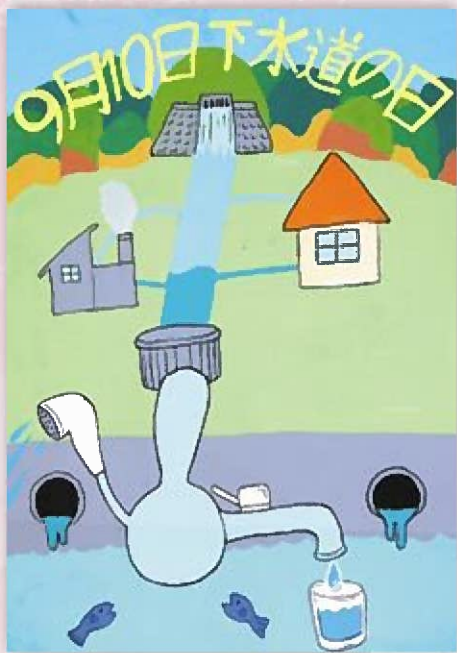


さいたま市立七里小学校 2年
深見 咲絢



朝霞市立朝霞第九小学校 2年
渡辺 匠

埼玉県下水道協会長賞



さいたま市立岸町小学校 6年
三浦 文史郎

埼玉県知事賞



三郷市立早稲田小学校 5年
滝澤 陽人

入選



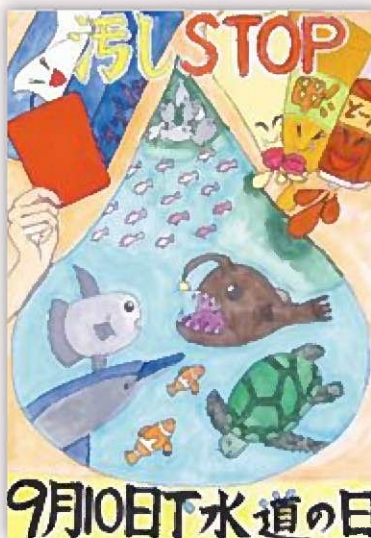
白岡市立葺義小学校 6年
皆川 由樹

入選



さいたま市立
浦和大里小学校
4年
田畑 結花

入選



朝霞市立
朝霞第一小学校
5年
須藤 絵美



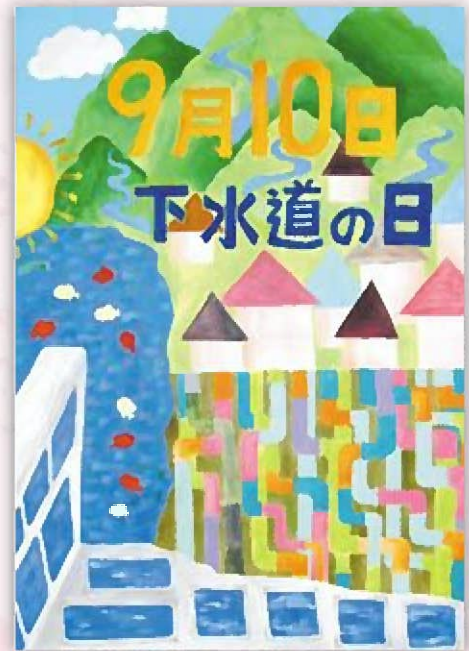
埼玉県下水道協会長賞



行田市立忍中学校 2年
藤本 優希



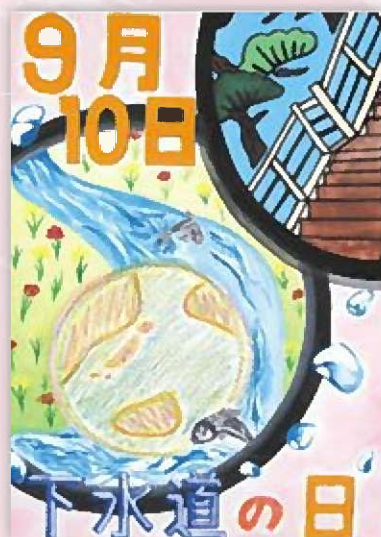
埼玉県知事賞



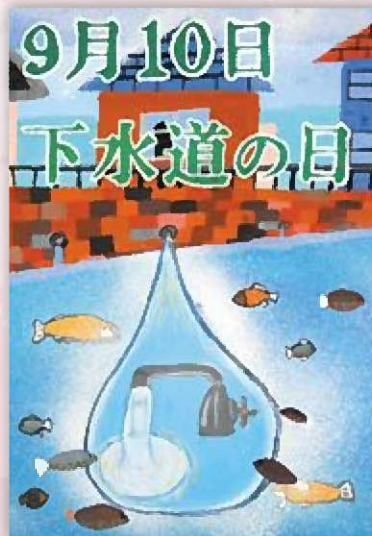
川越市立大東中学校 2年
坂下 優香



入選



草加市立両新田中学校 3年
井上 結子



入選

羽生市立南中学校 1年
高橋 美月



入選

吉川市立南中学校 2年
西澤 一郎

埼玉県下水道協会長賞



川島町立小見野小学校 2年
松崎 俊

埼玉県知事賞



鴻巣市立広田小学校 3年
齋藤 直人

入選



上尾市立大石南小学校 3年
相澤 陽菜

入選



春日部市立桜川小学校 3年
萩原 駆

入選



川島町立小見野小学校 2年
神田 光太郎

入選



狭山市立富士見小学校 2年
梶山 明日香

入選



鴻巣市立田間宮小学校 3年
豊島 郁海



埼玉県下水道協会会長賞



川島町立三保谷小学校 6年
古橋 優斗



埼玉県知事賞



春日部市立南桜井小学校 6年
浅井 美紅



入選



川島町立小見野小学校 4年
松崎 志織



入選



春日部市立八木崎小学校 5年
三浦 佳菜美



入選



吉見町立西が丘小学校 6年
尾崎 采奈



入選



川島町立伊草小学校 6年
神立 理名



入選



吉見町立西が丘小学校 5年
黒澤 日菜

埼玉県下水道協会長賞

中一
と下水道と環境
大石真衣

川島町立川島中学校 1年
大石 真衣

埼玉県知事賞

三年
と下水道と環境
角倉有希乃

鴻巣市立鴻巣中学校 3年
角倉 有希乃

入選

中三
と下水道と環境
角倉早希乃

鴻巣市立鴻巣中学校 3年
角倉 早希乃

入選

中二
と下水道と環境
島崎加恩

鴻巣市立吹上北中学校 2年
島崎 加恩

入選

中一
と下水道と環境
長谷川真衣

鴻巣市立鴻巣中学校 1年
長谷川 真衣

入選

中一
と下水道と環境
南綾音

川島町立川島中学校 1年
南 綾音

入選

一年
と下水道と環境
角倉希乃香

鴻巣市立鴻巣中学校 1年
角倉 希乃香



下水道新聞

7月30日(火)
発行 西村文里

下水道ってなに？

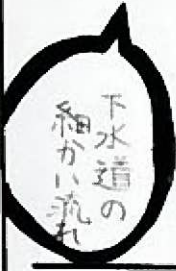


私達は日々生活をするのに、水を使っています。水は色や臭いなど、いろいろな場所から出てきます。下水は下水道へ行って、そこで下水は分解されて、また川や海へ流れます。下水道は、水をきれいにするための施設です。

下水道の種類

(主として)

- ・流域下水道
とがり以上の市町村の汚水を集めて、浄水場で処理する。
- ・公共下水道
市街地の汚水を集めて、下水処理場できれいにし、雨水がたまらないようにする。
- ・特定環境保全公共下水道
農村や自然公園を守る。
- ・都市下水道
市街地の汚水を川や海に流す。



下水道のつとめ

下水道は、家庭や工場、学校などから出る汚水を、川や海へきれいに流すための施設です。下水道は、水をきれいにするための施設です。



使った水は、このよきで再び使われ、きれいに生活を支えてくれます。

下水道のよい所

下水道には、良いところがたくさんあります。汚水を下水処理場へ運ぶことで、海に返すので、水をきれいに保つことができます。

気を付ける事

下水道には、油やゴミなどが入ると、管の中で固まり始め、詰まってしまうことがあります。油は流すし、かり処理します。

この新聞を書いた

私はこの新聞を書いた。下水道について、いろいろ調べた。みんなが、きれいな水を飲めるように、下水道を大切にしよう。

下水道新聞

六年一組
菅原 咲希

○下水道の役割とは
工場などで使われてよごれた水は、下水道管を通して、下水処理場へ送られる。東京都の下水管の大きさは直径25cmのものから85cmまでさまざまにある。

○水の使う量
東京都水道局によると1人が1日に約230リットル使用しているそうです。大きなペットボトル(2リットル)で約115本分、コップ(180ml)で約120杯分にもなります。これだけの量の水を、こんなことに使っているのではありませんか？



○マンホール
マンホールが丸いのは、四角や三角だと落ちまってしまうからです。

○反応槽
女なせ空気も入れているのか？
反応槽

○第一二沈殿池
汚泥の利用
レンガになり、歩道などに使われる。
ネクタイピン、ペンダント、花びんなどにもなる。
花だん用の土にも使われる。

○反応槽
結果、空気をいれることで、微生物が全体に行き回すことができる。

○再生水の利用方法
処理水の約20%はさらにきれいにし、再生水として臨海副都心へ供給しています。
再生水は、建物のトイレ用水や、ゆりかめ、車体洗浄などに利用されます。

○感想
私は下水道とは汚い所だと思いましたが、でも、下水道のことがわかりました。例えば、水をきれいにするのは、生物がいたり、汚泥が利用されたのです。

○感想
私は下水道とは汚い所だと思いましたが、でも、下水道のことがわかりました。例えば、水をきれいにするのは、生物がいたり、汚泥が利用されたのです。

○第一二沈殿池
汚泥の利用
レンガになり、歩道などに使われる。
ネクタイピン、ペンダント、花びんなどにもなる。
花だん用の土にも使われる。

○フズビーの紹介
熱帯魚の一種
水温は20〜25℃
フズビーはなでこにいます。
フズビーはなでこにいます。
フズビーはなでこにいます。

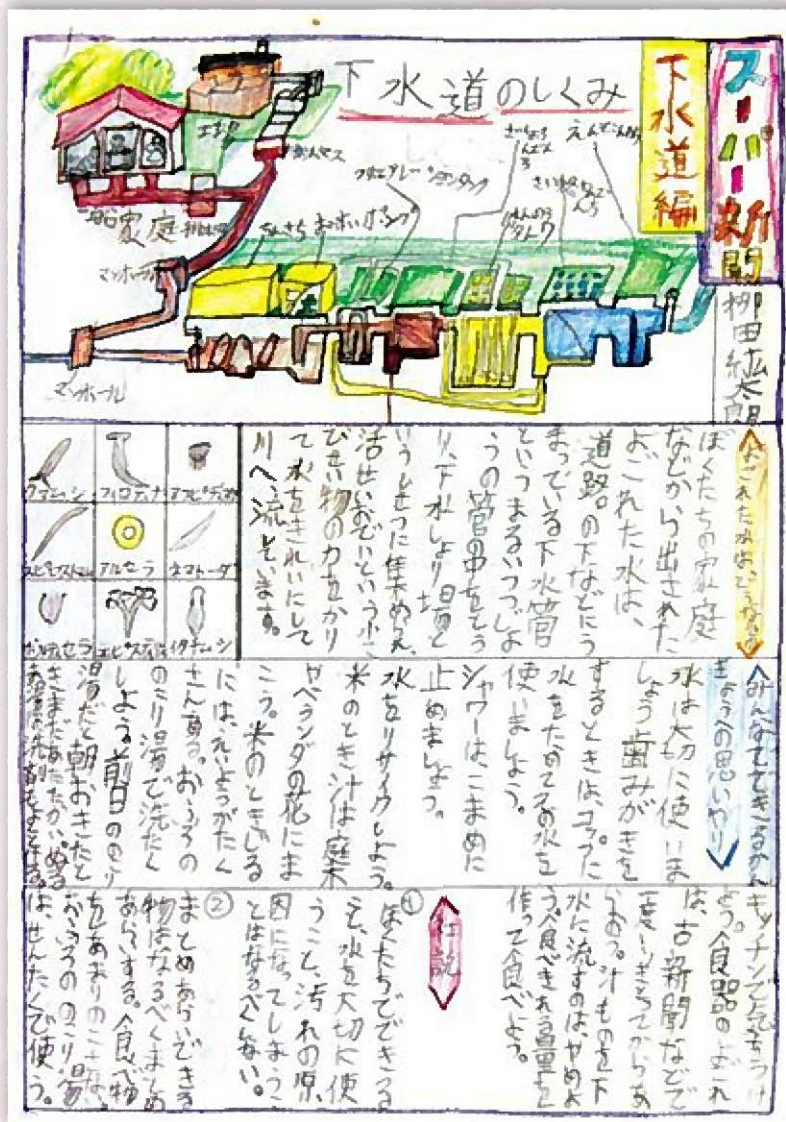
○感想
私は下水道とは汚い所だと思いましたが、でも、下水道のことがわかりました。例えば、水をきれいにするのは、生物がいたり、汚泥が利用されたのです。

○再生水の利用方法
処理水の約20%はさらにきれいにし、再生水として臨海副都心へ供給しています。
再生水は、建物のトイレ用水や、ゆりかめ、車体洗浄などに利用されます。

○感想
私は下水道とは汚い所だと思いましたが、でも、下水道のことがわかりました。例えば、水をきれいにするのは、生物がいたり、汚泥が利用されたのです。

○感想
私は下水道とは汚い所だと思いましたが、でも、下水道のことがわかりました。例えば、水をきれいにするのは、生物がいたり、汚泥が利用されたのです。

○感想
私は下水道とは汚い所だと思いましたが、でも、下水道のことがわかりました。例えば、水をきれいにするのは、生物がいたり、汚泥が利用されたのです。

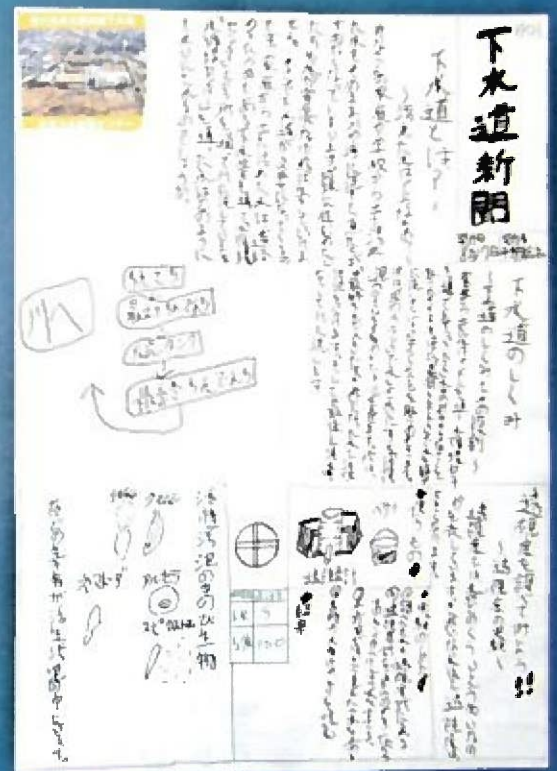


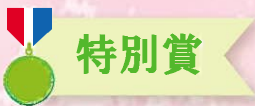
入選

北本市立南小学校
4年
柳田 紘太郎

入選

上尾市立富士見小学校
5年
平野 聡志





下水道新聞

発行
東松山市立南中学校
2年4組 新井拓哉
平成25年9月10日
(下水道の日)



水の循環

太陽の熱により海の水が温められ、蒸発して雲になり、雨や雪になって山や街に降ります。その水が集ま

下水道って、何？

私たちは、毎日、学校や家でたくさんのお水を使っています。トイレやお風呂等で使った汚れた水は、道路の下に埋め込まれた下水道管を通じて、下水処理場を集められ、きれいな水にして川や海に流して行きます。これらの施設を下水道といいますが、下水道は私たちの生活になくてはならないものとなっています。

水の循環

私たちが地球を循環している水の一部を利用して、毎日の生活や農業、工業に使い、使った後の汚れた水は、下水道で処理して、きれいな水にして川や海に流して行きます。私たちが地球を循環している水の一部を利用して、毎日の生活や農業、工業に使い、使った後の汚れた水は、下水道で処理して、きれいな水にして川や海に流して行きます。

下水道の役割

自然や暮らしを守る下水道には、次のような役割があります。

- ① 快適な暮らし 側溝などに汚れた水が溜まらなくなり、街がきれいになって、蚊やハエの発生も少なくなります。
- ② 環境を守る 汚れた水は、下水処理場(水循環センター)で処理され、汚れを取り除ききれいに川や海に流します。
- ③ 浸水を防ぐ 街や道路に降った雨水は、下水道管(雨水管)に集められ、雨水ポンプで汲み上げて川や海へ流します。これによって雨水が街に溢れるのを防いでいます。
- ④ 資源を作る 下水道は、資源として、電力や肥料、燃料、再生水等を産み出し、地域で有効利用されています。

下水道の種類

下水道の種類には、2つの方法があります。

- ① 合流式下水道 下水(汚水と雨水)を一纏の下水道管を使って下水処理場へ運びます。早くから下水道を開始した町は合流式が多いです。
- ② 分流式下水道 下水(汚水と雨水)は、別々の下水道管(汚水管と雨水管)で運ばれ、汚水は下水処理場(水循環センター)へ、雨水はそのまま川や海へ流します。なお、このほか、生活排水対策として、農村集落排水、合併処理浄化槽により水をきれいにしています。

～下水をきれいにする仕組み～

下水は、下水処理場で約1日かけ処理されます。水循環センターでは、ポンプや機械を24時間休みなく運転して、下水をきれいにしています。

下水道の力



- ① 家庭・工場 家庭や工場から出る汚水は下水道管の中を流れていきます。
- ② 下水処理場 下水は道路の下を下水道管を流れます。
- ③ 中継ポンプ場 地下深くをたどり、下水道管へ流します。
- ④ 沈砂池 下水の中にある大きなゴミを取り除き、砂を沈ませます。
- ⑤ 最初沈殿池 細かい汚れを、ゆっくり時間をかけて沈めます。
- ⑥ 反応タンク 空気を吹き込むことによって、微生物が汚れを分解して汚濁を減らします。
- ⑦ 最終沈殿池 反応タンクから流れてきた汚濁をこの池で沈めます。
- ⑧ 汚泥処理施設 汚濁は水分を取り除き、焼却して灰になります。
- ⑨ 消毒施設 きれいな水になった水は、塩素などで殺菌して川や海へ流します。

微生物の力

下水処理場(水循環センター)の反応タンクの中には、様々な微生物が汚れを食べて汚水をきれいにします。でも、油は人の苦手です。そして、汚れをいっぱい食べた微生物は、沈んで泥の塊(活性汚泥)になり、やがて、水分を減らした後に焼却して灰にして処分(再利用)します。

下水道の有効利用

下水道は、汚水をきれいにしたり、浸水を防ぐだけでなく、他にもいろいろな役立ちがあります。

- ① 下水処理場の反応タンクの上層を広場や公園として利用しています。
- ② 処理水を地域の施設の水洗トイレ用水として再利用しています。
- ③ 焼却灰をセメント原料として再利用しています。

大切な水を守る

- 「私たちにできること」
- ① 水洗トイレはトイレットペーパー以外は使わない。
 - ② 台所には油を流さない。
 - ③ 洗濯には洗剤を使いすぎない。
 - ④ 雨水桶にゴミや落ち葉を捨てない。
- 大切な水・環境を守るため、こうして身近なことから、下水道を大切に使う必要があると思いませんか。



世界に誇る技術の祭典 「下水道展」を訪れて

平成25年8月、東京ビッグサイトで下水道展が開催された。この展示会は、下水道に関する最新の技術や機器を紹介する展示会であったが、子供向けの企画もあって、普段は見ることができない下水道を面白く解りやすく学べ、下水道を実感できたイベントでした。

編集後記

2020年東京オリンピック開催が決定した。僕は、2000年生まれ。その時、2000年となる。世界中から選手や多くの観光客を迎える大都市、東京。その都市、そして人々を支えているのは、下水道。下水道の力が、オリンピックを支えてくれるだろう。



埼玉県知事賞

大切な水を守るために

美里町立松久小学校 四年

望月 菜乃

わたしの家の近くには、かわいいマンホールのふたがあります。そのふたにはきれいな色で、かわいい絵がかかれています。わたしは、お母さんに、

「この下には何があるの。ふたに書かれている『おすい』って何。」

と聞いたことがあります。お母さんは、「家から出たよごれた水がこの下を流れているのよ。」

と教えてくれました。わたしは、「よごれた水ってどこに行くのだろう。よごれたまま海まで流れて行ってしまおうのかな。」とき問に思っていました。

四年生になって、わたしは「よごれた水の

ゆくえ」について社会科で学習しました。そして六月には本庄市にある小山水じゅんかんセンターを見学しました。係の人から、水じゅんかんセンターでは下水道を通ってきたよごれた水のよごれを取ってきれいにしてから川に流していることを教えてもらいました。見学してとてもおどろいたことは水のよごれを取ってくれるのは薬ではなくとも小さな生物だったということです。この生物たちの活やくする様子がわかるように、係の人がよごれた水とび生物が入ったペットボトルをまぜるとどうなるかという実験を見せてくれました。にごっていた水はしばらくするととう明になっていったのです。目に見えない生物の活やくにとってもおどろきました。

また、小山水じゅんかんセンターでは、二十四時間、しょく員の皆さんが交代で仕事をしているという話も聞きました。わたしは、「よごれた水がたくさん流れて来るから、休みなくしょ理をしなくてはいけないのだ。だから、よごれた水を少なくしなければいけない。」と思いました。

そこで、わたし達ができることはどんなこ

とだろうかを家に帰ってから家族でも話し合いました。

まず、よごれた水の量をへらすにはどうすればよいかを考えました。

・お風呂の水をせんとくや植木の水やりにさい利用する。

・トイレの流す水の量を少なくする。

・体をあらうときには、シャワーの水を出しっぱなしにしない。

次に、水をよごさないようにするにはどうすればよいか考えました。

・よごれた食器は、新聞紙などでふいてからあらう。

・油はぜつたいに流さない。

・せんざいの量をへらす。

などの考えが出ました。できることは意外とあることやこれらは生活の中で実行できるとばかりだと気がつきました。そこでわたしの家ではさつそく実行することに決めました。

家族みんなで、お風呂ののこり湯をバケツにくんで植木にあげることにしました。バケツは重くて運ぶのは大変ですが、よくそうからすてる水はほとんどなくなりました。また、

わたしは食事の後よごれた食器を新聞紙でふく係にもなりました。すると、食器をあらうせんざいの量も、すぐ時に使う水の量もへったとお母さんがよろこんでくれました。

わたしは、毎日の生活の中でほんの少しの努力で、よごれた水をへらすことができるのだと思います。しかし、わたし一人ですらそうと努力するよりもたくさん人が取り組むことで大きく変わるのだろうとも考えました。わたし達みんなで、よごれた水をへらすうという意識を持ち、できることから行動することが大切なのです。わたし達にとって、水は、かぎりある大切なしげんなのだからです。



埼玉県下水道協会会長賞

家庭用排水について考える

久喜市立栗橋小学校 五年

忍田 尊教

毎日のように歯みがきをし、洗面する。水道の蛇口から出た水は、歯みがき粉や洗顔石けんと混じり合いながら、排水管の中へ流れていく。水道の蛇口をひねるたび、使われた

水は汚水となって下水管へと流れていく。今まで、ぼくの手を伝わっていった水が下水管を通り、下水処理場を通り、やがて海へ流れていくという事を意識したことはなかった。

トイレで流された水も、お風呂の残り湯も排水された後にどこへ行くのかということをお父さんの時間に学習したはずなのに、深く考えたことはなかった。「川の汚染の原因は家庭用排水」にもかかわらず、自分が使う水は、「汚染の原因」とは少し違う気がしていた。見た目は透明だし、いやな臭いもしない。お風呂

の水も毎日取り替える。でも、よく考えてみると、歯みがき後のうがいの水には「歯みがき粉」という石けん成分が入っているし、お風呂の残り湯の中にも、体についていたあかや油、石けんの泡などが含まれている。下水管の中にいる細菌も一緒に流されているかもしれない。しかも、ぼくの家一軒だけのことではない。町全体全ての家庭から同じように排水されているのだから、下水処理されないで川に流されてしまったら、大変な汚染になってしまうだろう。

自然のサイクルの中で、この汚染が川に流されてしまったら、やがては海に汚染が広がる。川や海に住む生物たちが汚染された水の中に住むえさを食べ、育っていく。そのえさを食べた魚を人間が食料として食べる。その魚は安全な食べ物なのだろうか。ぼくはとても不安を感じる。

食の安全、水の安全を考えるなら、自分達の足元から変えていく必要があると思う。

「下水処理場があるから大丈夫」というように他人まかせにするのではなく、一人一人が排水を少なくする工夫をしたり、自然に優しい

洗剤を使うように心がけたりする。きれいな水はどこにでもあるものではなく、いつでも手にはいるわけではない。海に流れる水が少しでもきれいななら、やがて雨という形でぼくの頭上にふっても、安全で、きれいな雨つぶをしていると思う。少しでも汚染水を少なくする努力と工夫が、今求められていることなのではないかと思う。

ぼくにできることは、ほんのわずかな小さなことかもしれない。でも積み重ねていくことが大切だと思う。



入選

体験しなければわからない かったこと

八潮市立中川小学校 五年

杉本 萌日

私は、夏休み親子下水道教室に参加しました。どんな事をやるのか、何が見られるのか、

とても楽しみでした。でも、実際に勉強してみても、私は下水道の事をぜんぜん知らなかった事に気付きました。

最初に水質実験をしました。透視度計という物を使い、水の透視度を計りました。私は、結果におどろきました。下水は八度で、放流水は百度でした。数字が大きいほど透明度が高いのです。下水と放流水の差が九十二度もありました。下水は、みんなが使った水なのできたないとは思っていましたが、その水を川へもどす時には、透明にまでするなんて、いったい何が行われているのでしょうか。

次に微生物の観察をしました。学校でもならった顕微鏡、スライドガラス、カバーガラス、スポイトを使いました。施設の人が、見えるように合わせて持ってきてくれました。

何種類かの微生物がいました。中には動いている物もいます。目では見えなくらい小さな微生物が水をきれいにしてくれているのです。とても不思議な感じがしました。二〜三種類の微生物しか見られませんでした。本当は、二十〜三十種類もいるそうです。

実験が終わると次は施設見学です。とても

広いので、一組ずつ車に乗って回りました。さっきの実験で、放流水がどうしてきれいになるのか、もちろん微生物だけではないと思うので、その様子が見られるので楽しみです。

下水管を通ってきた水は、水循環センターで何回にもわけて、きれいにしていきます。それぞれの水をすくって見せてくれました。最初はにおいもして、にごっていた水が、最後には、本当にきれいになっていました。私は、あたりまえのように水を使っています。じゃ口をひねれば、きれいな水が出るし、使った水は、排水口から流れていくので、その後どうなっていくのかなんて、考えもしませんでした。でも、水循環センターを見学して、きれいな水が使える事は、とても幸せな事だと思います。排水口から流れていった水は、また長い時間をかけて、じゃ口まで戻ってきます。だったら、排水口へ流す時に少しでもきれいな状態で流したいと思いました。食べかすやゴミは流さないように気をつけます。じゃ口から出る水をあたりまえと思わずに、少しでも節約するように大切に使う今、自分の出来る事をしようと思います。

私の家のそばには、中川という大きな川と、大場川という川が流れています。この川の水も、海に出てじょう発して雨になり、自分が使うかもしれません。川の流れを見てみるとなんだか、応えんしたくなりました。みんなが水を大切にしていって、流す水にも気をつけて、日本中の川がきれいになるといいなと思います。

親子下水道教室に参加して、水の大切さに気づけたので、とても良かったです。



入選

生活をささえる下水道

川口市立根岸小学校 四年

中村 育未

なぜ、下水道が生まれたかというと、生活はい水や大雨から街を守るために生まれまし。明治時代に伝染病という病気が大流行した時に、日本はヨーロッパ式の下水道を取り

入れました。日本で最初の下水処理場は三河島処理場です。ぼくは、下水道には色々な歴史があるんだと思いました。

家の中で、一番水を使う場所は、お風呂かと思ったらトイレでした。二番目がお風呂で三番目が台所四番目がせんたくきでした。ぼくの街で水をたくさん使う場所は、スーパーや学校、工場、レストランなどです。考えると、ぼくの周りには水を使う場所がたくさんあるんだと思います。家族四人が一月に使う水の量は、二万五千百リットル。そのほとんどが下水道に流されます。ぼくは、下水道がもしなかったらいったいどうなってしまうんだろうと思いました。

下水処理場は、いろんなところで使ったよごれた水を、きれいにするしせつです。水をきれいにする工程では、びせいぶつによこれを食べべてもらったり、水をしょうどくしたりします。さいせい水は、グラウンドのしば、公園の水、トイレのせんじょうや、ゆりかもめという電車をせん車します。水をきれいにする時に出るおでいというものを処理するには、おでいの水分をしぼり、あためて、消化ガスを発生させます。そ

して、そのおでいをしょうきやくし、灰にします。おでいは、自動車のねんりょう、畑のひ料や発電所のエネルギーなどの役にたっています。さいせい水とおでいも生活に大切だと思いましたが、きれいなった水は、川や海に流します。

たとえば多ま川とすみ田川の今と昔をくらべると昔の多ま川は、よごれていてアユもいませんでした。しかし、今の多ま川は、川の水がきれいになり、アユがふえました。すみ田川も昔は、よごとにおいがひどく、花火大会はできませんでした。しかし、今は水上バスや屋形船が走れるほどきれいになりました。下水処理場は川をきれいにするために、大切だと思えます。下水処理場では、みんなが使った水を、一生けん命きれいにしてる小さな生き物がいます。それはび生物です。下水処理場ではたらくび生物は、クマムシ、カルケシウム、さいきんるいの三ひきです。そのび生物がよごとを食べてくれます。そのしくみにとてもおどろきました。び生物はほかにイタチムシなどたくさんいます。

水をきれいにするには、たくさんエネルギー

ギーを使います。下水処理場ではエネルギーを使う量をへらしたりしたり、太陽発電など省エネをしています。下水処理場の水温は、夏は低く、冬は高めなので、れいだんぼうのエネルギーとして使われています。

下水道が使えなくなると、はい水口からくさいにおいがしたり、がい虫がでたり、川の魚が死んだりして、街がともきたなくなってしまう。きたない街は、嫌だなと思います。

地しんがおきて色々なものがとまった時、水道は給水車、電気は自家発電機、ガスは力セットコンロなどの代わりがあります。下水道の代わりはありません。ぼくは、代わりがないのは大へんだと思います。大都市では、大雨のひがいが起こらないように雨をためる大きな貯留管が作られています。どれくらい大きいのかなと思いました。

これから下水道は、まだふきゆうしてない地いきの下水道建設や、古くていたみはじめた下水道しゆう理などたくさんあります。ぼくは、下水道は毎日をきれいにすこすために、とても大切なものだと思います。そのた

めに、ぼくたちもトイレやおふろのルールを守って水を大切に使うていきたいと思います。



用水路の白い物体

東松山市立南中学校 二年

新井 拓哉

「この用水路きたないねえ。」学校から帰るときに、近所のおばさんたちが顔をしかめて話していた。そこはぼくが小さい頃からいつも中に入って遊んでいた水路だったので、「うそつけ、そんなことはない、この用水路はきれいだ。」と言い返そうとして用水路を見た。だが本当に汚かった。きのうまではとてもきれいだっただけに。

今年の春、ぼくの家は田んぼの近くにある用水路に白っぽいものが浮いていて、魚が全

滅していた。そのあと市の職員さんらしき人がその用水路を見ていて「こりやばいな。」と言っているのもたまに聞いた。そこはぼくたちの通学路なので、それから毎日その用水路の猛烈な臭さにたえて息を止めていかなければいけなかった。でもありがたいことに二週間程度たったのだらうか、いつのまにかきれいになっていて、あの悪臭に悩まされずに学校に行っている。

そのわずかに二週間の間に起ったことはものすごく深く胸にささった。ぼくはあのようないわゆる「ドブ」を見たのは初めてだった。ぼくが生まれた頃には既に下水道は完備されていてそのおかげでほとんどの川がきれい。父や母の話してくれる「ドブ」というものを一度も見たことがなかったのだ。そして生まれて初めてみた「ドブ」が小さい頃から力工ルやバツタを捕えて遊んでいた場所なので大変ショックだった。「下水道が使用できないとこんなに汚くなってしまふものなのか。」あぜんとするしかなかった。

それとこの用水路が汚くなって一番心配したのはぼくのうちの田んぼに影響が出ないか

どうかということだった。ぼくはそのことが心配になって父に話して一緒にあとで見に行った。父によると、おそらくセメントなどの有害物質を流してしまったんだろうとのことだ。ちよつと油断して、変なものを流しただけで一夜にしてあの大惨事になってしまふ。もしも下水道がなくて汚物や有害物質が川や水路にたれ流しになってしまったら・・・とくに日本は米の生産を大量に行っている「瑞穂の国」だ。考えるだけで背筋が寒くなる。

これまで下水道といっても正直ピンとこなかったが、こういうことを見て初めて下水道の大切さを実感した。下水道は人間が快適に過ごすために必ず必要なものだと思う。そんな人間の生活にかかせない下水道に油や、ティッシュペーパーなどの紙を流すと詰まったり、故障する原因となる。紙で極力油污れや食べ残しをとって、さらにゴミが排水口に流れないようにネットをかけたたりするといった工夫もしていきたい。

他にもトイレトペーパー以外の紙は流さないようにする、洗濯時に洗剤の入れすぎに注意、風呂で排水口に目の細かいネットをつ

けて髪の毛が流れるのをふせくなど（こうすると微生物の負担が小さくなるのだ）気をつけることはたくさんあると思う。そういうことをすることによって身近なエコ活動にもなる。ぼくが調べた結果マヨネーズ大さじ一杯をきれいにするのに三千九百リットル、天ぷら油（二十ミリリットル）をきれいにするのに六千リットルの水が必要になる。これを新聞紙などで拭きとればそれだけの水がムダにならない。

今回の出来事でぼくの下水道に対する見方が変わった。これからは下水道のことも考え、感謝しながら大切に使うていきたい。

今ぼくの家は田んぼの稲穂はしっかりと育っている。けれどたまに例の白い浮遊物は水路の水面にただよっている。一度汚してしまったものはなかなか完全にもとのようにはならないということだ。



埼玉県下水道協会会長賞

下水道の大切さ

小川町立樺台中学校 二年

中野 実歩

近くに大きな工場ができ、下水道管が通されることになったそうだ。私の家では昨年の夏、下水道排水設備の工事を行った。以前は合併浄化槽を設置していたらしい。そこで、下水道浄化槽の違いを調べてみることにした。以前設置していた合併浄化槽は尿尿や炊事、洗濯、入浴などの生活排水を処理するものだ。それに対し下水道は、これらの生活排水を下り水ますを通して下水道管へ送り、処理施設で高度処理するものだ。

下水道工事前は、家の敷地に大きなマンホールのあるようなものがあり、年に数回、点検で業者の人が来ていた。汚物の処理には、くみとりの車が来て、とても不快なおいが家に入ってきたことを今でも覚えている。

私の家は強制で下水道工事をしなくてはならない地域ではなかったそうだ。母は「下水道工事の金額が高くて大変だ。」と話していた。道路から下水マスまでの距離が長かったのが理由だったらしい。何故、強制されないのに工事をしたのだろうかと思い、聞いてみた。

一つは、家の敷地内に汚物をためずにするからだろう。点検、くみとりなどの利用がなく、快適に暮らせるから少しお金はかかるが工事を考えたらしい。もう一つは、浄化槽よりも高度な処理ができるため、河川の水質を守り、地球環境が良くなるからと言っていい。調べた中で浄化槽は、自己管理であるため十分な管理が行われないことがあるそうだ。点検をしないために機能が低下し、汚水が十分に浄化されないことがあるそうだ。

私の家の近くの川には、昔はホタルがとんでいたと聞いた。しかし、今は一匹もない。生活排水が増え、川が汚れたためと思われる。また、これら以外にも下水道の役割として雨水の処理による水害防止や、雪の降る地域では融雪溝に処理水を使用している。ここ数年、集中豪雨が増えているが、都市部のコンクリ

ートでおおわれた地域では、下水道を設置していることも知った。

これからは、下水道が普及し、より多くの人々が快適に暮らせるようになることを私は強く望む。そして、河川の水質がよくなり、近所の川にホタルも戻ってきてほしい。



下水道と私たちの生活

上尾市立西中学校 三年

山川 菜々

私は今まで、「下水道」というものについて考えたことがありませんでした。まず、下水道が何のためにあるのかということから考えていこうと思います。

下水道は何のためにあるのでしょうか。それは各家庭から出た不要な水を流すところですね。もちろん、私の家にもあります。台所、お風呂、洗面所、トイレ。たくさんのお風呂

にあります。私の下水道のイメージは、くさくて汚いところです。くさくて汚いなら必要ないようなものです。しかし、本当に必要なのでしょうか。

以前、私の家のトイレが詰まって流れなくなりました。いくら流そうとしても流れなかったため、電話で業者の方を呼びました。業者の方が来るまで、トイレからは水が逆流してきたりしました。一、二時間その状態でした。トイレの水は変色し、くさくて汚い不要物がたくさんたまっていました。そうです。下水道と同じ状態だったということですね。トイレだけでなく、家中どこにいてもくさかったです。そこで私はこう思いました。

「もし下水道がなかったらどうなっていたのだろう。」
と。もし下水道がなかったら、こんなくさくて汚い水が直接川へ流れてしまいます。埼玉県の何千万人、日本の何億人がこのことをしたらどうなるのでしょうか。日本中、世界中の水が汚染されていきます。こうなったら、海の魚もその水を飲んだ動物も死んでしまいます。人間も同じです。食物も食べられない、

水を飲めない地球へと変わってしまうのです。そこで、下水道があったらどうでしょう。川の水と合わさることなくきれいにされ、今のようになら生物が生きていける環境になります。

私たちはもつと下水道の大切さを知らなければならぬと思います。そして、感謝をした方がいいと思います。下水道は確かに、きれいでみんなから喜ばれるものではありません。しかし、私たちが生活する上でも、陰から支え続けて助けてくれる人がいます。下水道も同じです。私たちが生きていくためにあるのだと思います。下水道は偉大な存在だと思います。

しかし、そうは言ってもくさくて汚いのも事実です。どちらかというところ寄りたくありません。でも、そんな状態にしているのは誰でしょうか。私たち人間ではないのでしょうか。現在の日本では、海外の文化がたくさん取り入れられ、食事も洋食化したり、テイクアウトできる食品が増えています。食事を洋食化することで、油をたくさん使います。だから、皿を洗うときに油がたくさん混じった水が下水道へと流されます。それに、食べ残

すとそれが流れたりします。また、テイクアウトできる食品が増えるとその分、そのゴミをポイ捨てする人もいます。そのゴミが下水道へ流れてしまうこともあります。だから、下水道が少しでもきれいになるのは、私たちの行動も関係していると思います。

では、これから何をすれば良いのでしょうか。私は、まず下水道をよく知り、大切なのだと感ずることが必要だと思います。そして、水をよごさないようにいろいろな面から考えることが大切だと思います。私はいから下水道への考え方を少し変えて生活していきたいと思っています。



見えないものに感謝

伊奈町立伊奈中学校 三年

松島 千夏

私達は水がなければ生きていくことができ

ません。しかし、水は使えばどんどん汚くなっていきます。そこで、私は普段使っている水をきれいにしてくれる下水道の役割と、水を汚さないために私達にできることを考えてみることにしました。

まず、下水道の役割についてです。下水道の役割は大きく分けて二つあります。一つ目は、雨水の処理です。雨が降った時に、その水の行き場がなかったら道路が浸水してしまいます。大雨が降るたびに道路が浸水していたら私達は困ってしまいます。そこで、道路には「雨水ます」とよばれるものがあります。下水道は、この雨水ますから雨水を流して、道路に水がたまらないようにしています。二つ目は、汚水の処理です。私達は生活の中で、トイレ、洗濯、炊事、風呂などさまざまなところで多くの水を使っています。これらの生活汚水が処理されずにたまっていくと、どうなるでしょう。私は悪臭がしたり、ハエなどの虫が発生すると思います。このような汚水と一緒に生活することは、私達の生活環境を悪化させていきます。だから、下水道があるのです。人間が快適で衛生的な毎日を送れる

ように、下水道は毎日働き続けています。

私達が使った水は下水道を通じて下水処理施設まで行ってきれいな水になります。しかし、最終的に水をきれいにするためには、私達にできることがたくさんあると思います。例えば、油污れのひどいお皿は、キッチンペーパーで拭いてから洗う、洗剤を使いすぎない、など簡単なことがたくさんあります。一人一人の行動は小さなことかもしれませんが、一億人以上いる日本人全員が行ったらとても大きなことになります。これ以外にも、こまめに水を止めることも大切だと思います。ただ水を汚さないようにするだけではなく、水の使用量を減らすことで、下水処理施設できれいにしなければならぬ水の量も減らすことができます。とても簡単なことなので、私もしっかり取り組んでいきたいと思っています。また、家族とも節水方法について話し合ったり、もう一度自分の生活を見直したいです。

私は、今回下水道について考えてみて、下水道は普段見えないから意識していなかったけれど、とても大切なものだとなりました。私が住んでいる町では、下水道が整備されて

いて不自由のない生活を送れています。しかし、祖父母が私の住んでいるこの町に引っ越してきたころは、まだ下水道が整備されていなかったそうです。私はそれを聞いてとても驚きました。このころは、下水道ではなく、浄化槽で、汲み取りに来てもらっていました。汲み取りに来てもらっている時は臭っていたそうです。これを考えると、下水道が通っていることはとてもありがたいことだと思います。私達の身の周りは、私達が生活しやすいように、日々進化し続けています。すべての人がより快適な暮らしができるようになってきたら良いと思います。これからは水だけではなく下水道にも感謝しながら、大切に水を使っていきたいです。

応募状況

〔標語〕

応募総数……………九二一点

〔ポスター〕

小学校低学年の部……………二〇三点
 小学校高学年の部……………三二二点
 中学生の部……………一七六点
 応募総数……………六九一点

〔書道〕

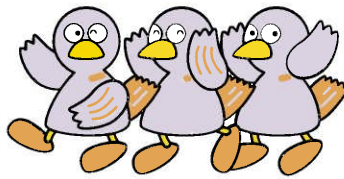
小学校低学年の部……………五、九二四点
 小学校高学年の部……………八、〇三五点
 中学生の部……………五三二点
 応募総数……………一四、四九一点

〔新聞〕

小学校高学年の部……………八点
 中学生の部……………一点
 応募総数……………九点

〔作文〕

小学校高学年の部……………二七点
 中学生の部……………一〇七点
 応募総数……………一三四点



埼玉県のマスコット **コバトン**



環境にやさしい大豆インキを使用しています
再生紙を使用しています